

国際 NGO プラン・インターナショナル、公益財団法人ジョイセフ、国連人口基金東京事務所が協働
国連最新報告から「性と生殖に関する健康と権利を考える」イベントを開催
SDGs 採択から 4 年、国際人口開発会議 25 周年に向けた取り組みを展開

国際 NGO プラン・インターナショナル（所在地：東京都世田谷区 理事長：池上清子 以下、プラン）は、公益財団法人ジョイセフ、国連人口基金東京事務所（UNFPA）と協働し、「SDGs 採択から 4 年。国連総会参加報告とセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツを考える 国際人口開発会議 25 周年にむけて」と題したイベントを、11 月 6 日（水）に開催します。プランからは、職員 2 名がパネルディスカッションに登壇し、理事長 池上清子が閉会の挨拶をいたします。

ご報告する第 74 回国連総会は、テーマとして「貧困撲滅、質の高い教育、気候アクション及び包摂のための多国間の取組の活性化」を掲げ、2019 年 9 月 17 日～30 日にニューヨークで開催されました。また SDGs 採択から 4 年目となる今年は、期間中に SDG サミットも開催され、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（以下 UHC）※達成の重要性を各国が再確認する場となりました。

本イベントは二部構成で、第一部では、SDG サミットや気候行動サミットに参加した NGO が報告します。第二部では、恒常的にジェンダー平等や性と生殖に関する健康と権利（セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ、以下 SRHR）に取り組む国連機関や NGO が集まり、UHC 達成において SRHR がなぜ必要不可欠なのか、国内外で SRHR を推進するために何が必要なのかをさまざまな見地から話し合い、今年 11 月 12～14 日に国際人口開発会議（ICPD）25 周年を記念して行われるナイロビ・サミットに向けて、国内外で SRHR を推進するために必要な事柄をパネルディスカッションします。

※ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）：すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられること

【イベント概要】

日時：2019 年 11 月 6 日（水）18:30～20:30（受付開始：18:00）

会場：文京シビックホール 3 階 会議室 1・2

東京都文京区春日 1-16-21（アクセス <https://www.b-academy.jp/access/>）

最寄り駅 東京メトロ 後楽園駅、都営地下鉄 春日駅（いずれも直結）

対象：国内外でジェンダーや保健課題に取り組む関係者、その他一般の方（学生可）
どなたでもご参加いただけます

参加費：無料

共催：公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン、公益財団法人ジョイセフ、
国連人口基金東京事務所

協力：持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）、SDGs 市民社会ネットワーク

申込み URL：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScv2nAsClafVu_ik86xQMsCjL-U6TAveJtS475c00DhRSzNQ/viewform

定員 70 名、定員になり次第締め切ります

お問い合わせ：プラン アドボカシーチーム

TEL：03-5481-3533（平日 9:00～17:30） Eメール：advocacy@plan-international.jp

【プログラム】

開会挨拶 勝部まゆみ（ジョイセフ）

第一部：第74回国連総会参加報告（18:30～19:05）

「第74回国連総会のハイライト」 久保田将樹（SDGs 市民社会ネットワーク）

「国連総会への市民社会の参画 ユースの視点から」 大久保勝仁（JYPS）

第二部：パネルディスカッション UHCの達成を目指して（19:05～20:30）

パネリスト：国連UHCサミットの振り返り 斎藤文栄（ジョイセフ）

UHC達成の鍵となる思春期の健康 澤柳孝浩（プラン・インターナショナル）

菅野亜希子（プラン・インターナショナル）

国連におけるSRHRとICPD+25 佐藤摩利子（国連人口基金東京事務所）

ファシリテーター：山口和美（JYPS）

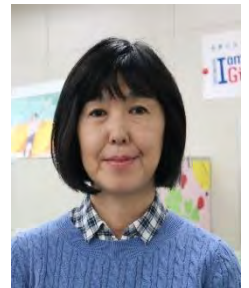
閉会挨拶 池上清子（プラン・インターナショナル）

- プランからは、以下の2名が登壇いたします。

菅野亜希子 国内支援事業準備チームリーダー

社会福祉士として母子保健領域のソーシャルワーカーとなり、若年・意図しない妊娠、性暴力、ドメスティック・バイオレンス等の被害者の相談支援を行った経験から、日本におけるジェンダーの問題がこれらの社会課題に深く関わっていると感じ、渡米し女性学を学ぶ。

帰国後母子家庭の相談支援・社会福祉法人の運営管理業務等を経て、2019年1月より現職。



澤柳孝浩 アドボカシーオフィサー

教育支援の拡充とジェンダー平等を目指して、ユース・エンゲージメントや政策提言を担当。日本政府をはじめ関係各所に働きかけている。

支援者サポート部、プログラムの監理業務などを経て、現職。



プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために世界70カ国以上で活動する国際NGOです。創立は1937年。長年にわたり、子どもや若者、地域の人々とともに地域開発を進めてきました。すべての子どもたちの権利が守られるよう、とりわけ女の子や女性への支援に力を入れています。市民社会、政府機関や国際機関と連携しながら、世界を持続的に、前向きに変えていきます。

<https://www.plan-international.jp>

公益財団法人ジョイセフからも同内容が配信されております。重複した際にはご容赦ください。

このリリースに関するお問い合わせ

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 広報担当 平田／寺田

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22-11F

TEL : 03-5481-6517 FAX : 03-5481-6200 Eメール : izumi.hirata@plan-international.jp

